こあゆ

平成26年6月1日現在
世帯数　15,624
人　口　36,740 人
（男子）　18,269 人
（女子）　18,471 人
（水元、南水元、東水元累計）

第 60 号 2014. 7. 14　葛飾区青少年育成水元地区委員会

編集後記

今年も水元公園菖蒲まつりの会場で子どもたちの野外コンサート「ステップバイステップ」が開催されました。毎年、子どもたちの歌や踊り、演奏に元気をもらい、一生懸命の姿に心を打たれます。

コンサートが始まって、まもなく「あれっ」と舞台セットをしているスタッフの中に2人の若者の姿を見つけました。彼らは、毎年菖蒲まつりで自転車整理のボランティア活動をしている水元地域の高校の生徒でした。自分たちの仕事が一段落ついたということで、自発的に手伝ってくれたのです。彼らがスタッフに溶け込んで、地域の小・中学生のために働いている姿をみて、とても嬉しく、清々しい気持になりました。そして彼らのキラキラした表情は今回のステップバイステップのもうひとつの主役でした。

平成26年7月14日発行
葛飾区青少年育成水元地区委員会事務局（会長宅）
☎（三六二一七）一〇九五番

私のひとり言

水元小学校長　小　澤　裕　行

「心に残った話」

私はスポーツが好きです。自分でやるのも、見るのもすきです。中には苦手なスポーツもありますが、身近なスポーツから馴染みのあまりないスポーツまで大体のスポーツならばやるのも見るのも好きです。

「瀬戸大也」という名前を知っていますか。聞いたことがありますか。彼は水泳選手です。日本を代表する水泳選手です。二〇一三年、スペインのバルセロナで行われた世界水泳選手権大会では世界水泳大会史上、四〇〇メートル個人メドレーでは日本人選手初めての金メダルを獲得しました。しかし、ここまでの道のりは決して楽なものではなかったようです。

彼の幼いころのライバルに荻野公介選手がいます。同年齢で、同じ種目（四〇〇メートル個人メドレー）に挑戦する本当に良いライバルです。荻野選手は二〇一二年、高校三年生の時、ロンドンオリンピックに出場（男子高校生でのオリンピック出場は北島康介選手以来だそうです。）し、銅メダルをとりました。

一方、ジュニアオリンピック時代までは、荻野選手に勝つこともあった瀬戸大也選手ですが、近年は立場が逆転し、なかなか荻野選手に勝てなくなっていたそうです。もちろんロンドンオリンピックにも出場はしませんでした。それから二年後、前述したとおり、世界選手権で金メダルをとりました。

私のひとり言は、瀬戸大也選手の母親のことです。子育ての信念が、「決して子供にマイナス思考を許さなかった」ことだそうです。とにかく、どんなに辛く、うまくいかない状況でも、マイナス思考を出したときは厳しく接していたそうです。小学生から中学生時代に、荻野選手に負け続け、どうしても勝てない時も、心が折れそうな表情をしている息子に、「強い子がいると、その世代は強くなる。だからあなたはラッキーなんだよ」と諭したそうです。

ロンドンオリンピックの選考に漏れたときも、瀬戸選手の落ち込みは想像を絶するほどのものだったようですが、「つらい経験をできて幸せ、この経験こそが四年後にあなたを強くする。大也にとってはなくてはならない経験だよ」と言ったそうです。

「ポジティブ思考」こそが、人を大きくさせる。ポジティブ思考があれば、辛い思いから抜け出すことができる。

「ポジティブ思考」。私の心にずしりと響く言葉です。

本当に必要ですか？ スマホ・ケータイ

最近、携帯電話・スマートフォン、PC（以下「ケータイ・スマホ」といいます。）の過度の使用により、心身の不調が生じたり、学業などに支障を来たす子どもが増えています。

また、インターネットの交流サイトに起因して、全国で半年間に 600 人弱の子どもが、犯罪の被害に遭っています。被害に遭った子どものうち 95%が、携帯電話・スマートフォンのフィルタリングを利用していませんでした。

※法律で、フィルタリングの利用は保護者の責務とされています。

身体面：視力低下、運動不足、エコノミークラス症候群など
精神面：ひきこもり、昼夜逆転、睡眠障害など
学業面：成績低下、遅刻・授業中の居眠り、留年・退学など
金銭面：浪費、保護者のクレジットカードの無断使用など
対人面：家庭内暴力・暴言、友人関係の悪化など

出典：独立行政法人国立病院機構久里浜医療センターネット依存治療研究部門資料（一部改変）

1　有害情報から子どもを守るため、必ずフィルタリングを利用しましょう。

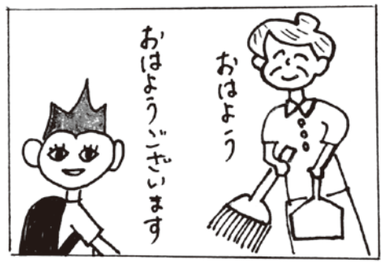
2　『家庭のルール』を作りましょう。

【ルール作りのポイント】

・子どもと話し合って、共通理解のもとに子ども自身にルールを宣言させることが大切です。
・携帯電話を使用する時間や場所等を明確にするなど、具体的で守りやすいルールを作成しましょう。
・子どもがルールを守れなかった場合のルールを決める（二重構造にする）ことが、効果的です。

子どもたちは自分の将来を方向付けるかけがえのない時期を生きています。ネット依存によって貴重な時間を失わないよう、ケータイ・スマホの節度ある利用と、豊かな実体験を通して、充実した日々を送れるように環境を整えることは保護者の責任です。

ともずみクン ⑦



水元地区委員会のポスター「ふくたろうクン」です！

町会や学校の掲示板に貼ってあるので見てネ！

水元地区委員会　委員研修会　6/17㈫

テーマ

「水元地区委員会とは」

講師
水元地区委員会会長　井上　利一

平成２６年度の委員総会において、引き続き会長に就任いたしました井上利一会長に水元地区委員会の特徴や活動、今後の課題について、お話していただきました。一部をご紹介します。

特徴として毎月役員会・定例委員会を開催し、報告事項・協議事項の他に各委員（出身母体）の情報交換を行う協議体であり、水元自治町会連合会及び水元地区まちづくり懇談会との協力・応援体制をとっている。

活動としては年間18事業を水元ブロック子ども会育成会連合会や水元地区まちづくり懇談会と共催・協力し実施している。水元地区委員会の特徴ある活動である野外コンサート（Step by step in菖蒲まつり）は、地区委員会の枠を超えて近隣小学校７校、中学校３校が参加し各学校の児童生徒の日頃の成果を地域の方々に披露することを念頭において開催している。また水元地域のジュニアリーダーを育成するため、司会者として参加をしてもらっている。

今後の課題として、各子ども会の会員数が減少しており、現在はほとんどの町会で子ども会としての行事を実施しているが、会を存続することができない子ども会が増加してきている。ぜひ、町会・子ども会に加入し、子どもたちにいろいろな体験をさせてあげることが大切だと思いますので、保護者の方々の協力を得て街の活性化につなげていければ良いと思います。と締めくくった。

「かつしかっ子」宣言

・人（ひと）にやさしくします
・あいさつで心（こころ）をつなぎます
・約束（やくそく）を守（まも）ります
・自分（じぶん）で考（かんが）え、行動（こうどう）します
・仲間（なかま）と力（ちから）を合（あ）わせます

これが「かつしかっ子」の誇りです

葛飾区教育委員会